

男女共同参画社会をめざす

アゼリア

# Azalea

2010  
1999-2.29

NO.23



特集 新しい「世界」へホップ、ステップ、ジャンプ  
—「情報」で賢くエンパワーメント—



北区



『アゼリア』は古紙配合率50%の再生紙を使用しています。

# 新しい「世界」へ ホップ、ステップ、ジャンプ

## 「情報」で賢くエンパワーメント

有限会社インフォメーション  
プランニング代表

ゆうき みえこ  
結城 美恵子

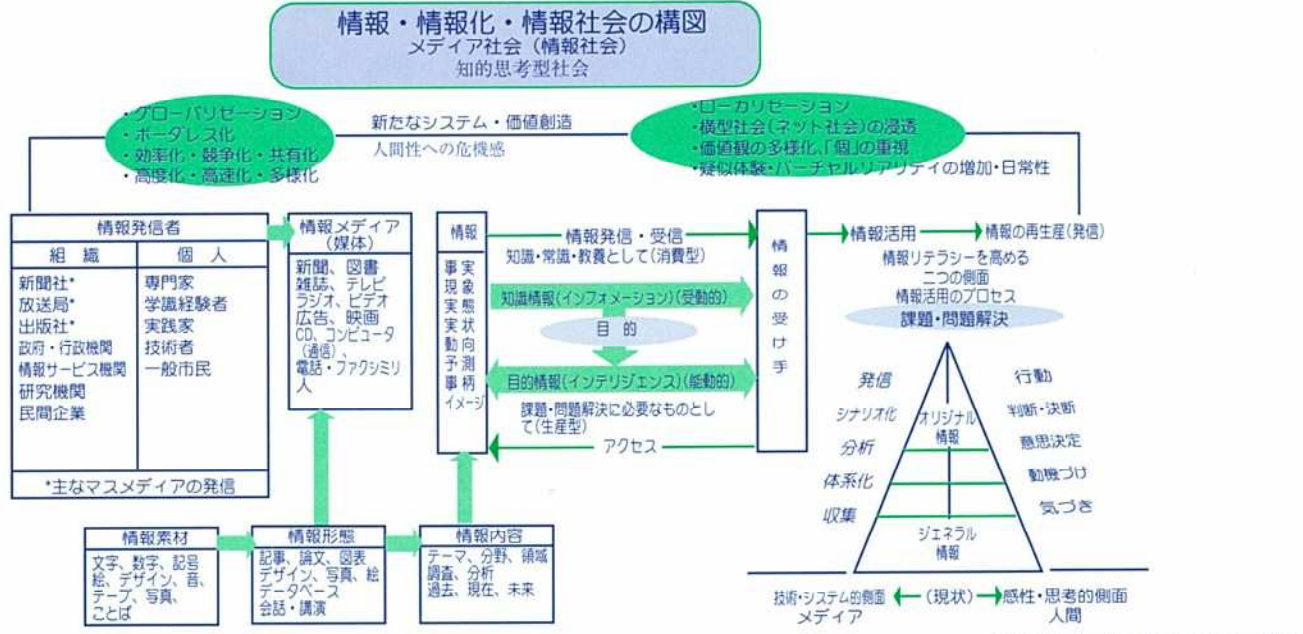


**プロフィール** 国立婦人教育会館などを経て平成元年4月に会社設立。女性のための意識・キャリア開発講座を主催するほか、人材戦略、業務効率化等のコンサルティングを行う。  
関東学院大学非常勤講師、新座市基本構想振興計画審議会会長などを兼務。  
主な著書としては、『自分流情報活用のすすめ』/大柴出版、『女性の感性が営業を革新する』/中央経済社、『自分らしくから始めよう』/風水社などがある。

「いい仕事をしたい」?

始めからクイズのようなタイトルで少し面喰らったかも知れませんが、これはいま、あるいは今後の情報社会の特徴を表すキーワードを語呂合わせしたもので「すくじ」「聞ける」「見られる」「わかる」「知る」ことができる」というものです。

21世紀の到来を来年に控え、私たちの生活環境はだいぶと変わりました。なかでも情報化の進展は技術、医学、経済、労働、交通などあらゆる分野で効率化や合理化を進めました。自分ですべてを運ばなくても、いながらにして、電話、ファックス、テレビ、パ



インフォメーションプランニング©

### 『アゼリア』編集委員がおすすめ! ホームページ集

- (女性関連情報)**
  - Women's Online Media <http://wom.vcom.or.jp/>  
女性のためのオンラインネットワークグループ。国内外のさまざまな女性情報を収集・発信。日本・海外の女性関連ページへのリンク集はさすが。
  - Women.com Networks, Inc <http://www.ijnnet.or.jp/sankei/>  
情報満載。エンパワーメントしたい、ビジネスを始めたいという女性の大きな味方になりそう。
  - ワーキングマザーのサバイバルガイド <http://www.cyber66.or.jp/WMM/>  
これから母になるワーキングウーマン。そして働き始めるお母さんに、ぜひ一度見てほしい。
  - リアプロ・ヘルス情報センター <http://member.nifty.ne.jp/m-suga/>  
女性の性と生殖について考えるページ。ピルの情報を中心に、避妊、妊娠、出産についての情報が多数。質問コーナーもある。
  - 女の本のデータベース <http://www.osk.3web.ne.jp/yagacha/>  
フェミニズム、生き方・くらし、福祉、高齢問題など、女性を元気にする本を幅広く紹介。
  - 国立婦人教育会館又エック <http://www.nwec.go.jp/>  
セミナー・イベント日程、機関紙・刊行物の内容など女性に関するさまざまな情報を発信。
  - 東京ウイメンズプラザ <http://www.tokyo-womens-plaza.or.jp/>  
(財)東京女性財団が運営。相談事例集や女性問題についてのテーマ研究リスト、出版案内など。
  - 女性と仕事の未来館 <http://www.miraikan.go.jp/>  
1月に開催した労働者の女性センターのホームページ。キャリアアップや主婦の再就職相談など、あらゆる女性の働きたい気持ちをサポート。
  - (生活) 国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/>  
くらしに密着した情報を提供。悪徳商法や製品事故など消費生活トラブル情報では日本一。
  - 漂Lady's Information Net <http://www.arce.net/lin/>  
専門家による法律、健康、保険の各無料相談コーナーあり。3人の弁護士が答える法律相談は、過去の相談例を読むだけでも役立つ。
- お葬式プラザ** <http://www.sekise.co.jp/sougi/>  
葬儀に関する情報満載。宗教別死生観、葬儀の進め方がわかる「パーチャル葬儀館」、葬儀や相続手続きのQ&A「もしも相談センター」などあり。
- (本)**
  - Books.or.jp <http://www.Books.or.jp/>  
(社)日本書籍出版協会の書籍専門の検索ホームページ。書店販売、直販、自費出版も含む国内に流通している本で、在庫があり読者の手に入るものは全て検索可能。
  - おくすり110番 <http://www.jah.ne.jp/kako/>  
病院でもらう薬の一覧が見られる薬事典。名前や記号で検索できる薬事典ほか、おくすり鑑定申し込み、写真入り薬用植物図鑑など、情報多彩。
  - 全国10万件以上の医者さんガイド <http://www.10man-doc.co.jp/>  
日本全国の病院、医院を地域別、診療科目別に網羅。検索結果からは公開されているお医者さんのホームページにもリンクしている。
  - (美術館) 博物館・美術館 <http://www.tama.or.jp/~kayama/museum/museum.html>  
日本全国の美術館、博物館が調べられるほか、各館の特別展示などを随時案内。
  - (インターネット) 女性のためのインターネットはじめの一歩 <http://www.incept.co.jp/beginner/>  
ソフトウェアの使い方やインターネットの仕組みをわかりやすく解説。Q&Aでは初心者がつまずきやすい疑問に回答。困ったときに何でも聞ける「質問掲示板」もある。
  - (北区関連) 北区公式ホームページ <http://www.city.kita.tokyo.jp>  
わが街北区のホームページ。北区女性のネットワークホームページ (<http://www.nitl-net.ne.jp/knet/>) にもリンク。
  - Net City きたくなるまち <http://www.netcity.kita.tokyo.jp>  
北区の産業振興ネットワーク。区内のトピックス、観光や産業を紹介するコーナー、情報交換ができるコーナーなど。区内の情報が電子メールで届く「メールマガジン」もあり。

### おずかしいことは苦手、というあなたも やってみよう!! 情報活用

- ウォーミングアップ1** まず、「何のために」をはっきりさせよう。  
「ただ何となく」「いつかは役立つから」という気持ちで情報を集めるのはあまり効果的ではありません。集めることに終始し、活用するまでには至らない結果になりがちです。
- ウォーミングアップ2** 知識情報から 目的情報へ 変換させよう  
何かが行動したい、自分を変えたい、不安を解消したい、あるいは、問題・課題を解決したいと思う時、情報が必要になってきます。この時、「何を何のために」が明らかにになり、それまで単に「知っているだけ」の情報も「何かを解決するために必要な情報として生かされること」になります。
- ステップ1** 情報を集めよう  
できるだけ視野を広げてテーマにかかわる情報を網羅的に集め、全体像を把握します。一見無駄のように思えますが、自分の思い込みを解除し、公正さを欠かさないためにも必要なことでしょう。
- ステップ2** 集め方を学ぼう  
情報は新聞・雑誌などの活字によるもの、テレビ・ビデオなどの視聴覚によるもの、またインターネットによるもの、人とのコミュニケーションによるものなど多種多様です。集める方法も書店等での購入、図書館等のデータベース検索、電話等での相談、講座への参加など多岐にわたります。いずれにしても情報源がしっかりしている情報を有効に活用することが大事です。
- ステップ3** 必要な情報を セレクトしよう  
集めた結果、情報が重複していたり、目的に合っていないなかったり、あるいは期待はずれだったりといういろいろあるでしょう。自分にとって必要な情報の取捨選択をしましょう。
- ステップ4** 情報を整理しよう  
セレクトした情報から何がつかめるのかを知るために、情報の内容によって整理・分類しましょう。「テーマ」との関連からできるだけ自分の「目的」にそった具体的な区分をするのがコツです。
- ステップ5** 情報を分析しよう  
分類された情報を客観的にまとめましょう。事実や現状・実態を理解したり、比較検討をしたり、可能性をみたり、情報から得られることを客観的に理解することが大事です。
- ステップ6** 自分のシナリオを つくろう  
情報を客観的につかんだ結果から、自分の目的に標準を合わせて自分の考え方をまとめましょう。それが、考えていたことを具現化できる、そして今後の自分の意思決定や行動の決め手になる自分だけのオリジナルな情報なのです。
- ステップ7** 情報を発信しよう  
たくさんの方から整理・分析を経て、自分だけのオリジナルな情報がつくりだされます。同じようなテーマ、目的を持っている人の役に立つこともできるでしょう。活字でもいいし、インターネットを利用して情報提供していただくのもいいでしょう。おおいに「私の情報」を発信していきましょう。

「情報」は「人なり意識なり」  
それにはまず、「情報」とは何かを学んでおくことが大事です。普段何気なく使っている「情報」ということばでも、いざ「情報ってなに?」と聞かれると、さて「?」(説明に困った)という経験もあるのではないのでしょうか。よく「情報」と言うとテレビとかパソコンをイメージする場面が多いのですが、図(P3)を見るとわかるように、それは「メディア」であって「情報」とは異なります。メディアはあくまでも情報を伝達するための道具です。ですから、形があり、目に見えます。触ることもできます。また、使用目的もはっきりしています。だいたい同じような値段もついています。

「つもり感覚」に気をつけて  
多種多様なメディアに接するということは、それだけ豊富な情報に囲まれて生活しているということになります。行ったことのない国、触ったこともない生き物、香りを嗅いだこともない花、食べたこともない料理……疑似体験の世界が私たちの目の前に広がってきます。でも、無意識のうち蓄積される、自分が体験したことがあるかのようない、わかつたような感覚(つもり感覚)には要注意。

「なくても生きていける」ということもいえます。ただし、これは「現状維持でよければ」という前提での話です。しかし、誰でも、「いまよりはもっと」という向上心があるものです。こうしたとき、適切な判断や行動をするために欠かせないのが情報なのです。

さらに大切なことは、ジェンダーの視点をもつということです。残念ながら日本におけるメディア業界は、まだまだ男性中心の職場が多いようです。情報のつくり手に、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業観や「男らしさ、女らしさ」に固執するジェンダー意識が根強く残っているのが現状です。子どもの問題は必ずといっていいほど母親とセットで語られ、そこに父親の存在はあまり見受けられません。週刊誌のグラビアを飾るのは、相変わらず女性のヌードや水着写真です。

「つもり感覚」に気をつけて  
これらを当り前のことのように思い込んでしまわずに、常に「なぜ?」という疑問、問題意識を持つことが大切です。また、パソコン等を操作できる力も大事です。多くの女性が思考力と技術力の両側面から力をつけてネットワークをつくり、広げ、ジェンダーの視点をもった情報発信者になることが期待されます。

「つもり感覚」に気をつけて  
「なくても生きていける」ということもいえます。ただし、これは「現状維持でよければ」という前提での話です。しかし、誰でも、「いまよりはもっと」という向上心があるものです。こうしたとき、適切な判断や行動をするために欠かせないのが情報なのです。

**北区 I V I S (インターネット・ボランティア・インストラクター・システム)**

インターネットに興味のある方は毎月第2、4(木)の午後6時から北とびあ11階の産業情報センターで開催される I V I S サロンをのぞいてみてはどうでしょう。

『教わった人が次は教える人になる』を合い言葉にした区民同士の輪が広がっています。始めたいけど解らないという方。「アイビスの件で」とお問い合わせ下さい。インストラクターしたい、という方も募集中!

申込み・お問い合わせ先:  
〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ10階  
北区産業振興課 産業振興係  
TEL:(5390)1234/FAX:(5390)1144  
ホームページ: <http://www.netcity.kita.tokyo.jp/ivis/>  
E-mail: [ivis@kitaku.net](mailto:ivis@kitaku.net)



# 男女共同

# NOW 参画

## 北区おかみさん元気クラブ (仮称)

三浦まつ子さん 尾花由紀子さん  
岸せ志さん 中島一江さん  
久古美枝さん

商店の女性たちの出会いと発見の場とすることを目的として、産業振興課で「おかみさん元気塾」のセミナーを開いて4年目となりました。今、「元気塾」のOBの女性たちの間から、受講して得た知識や人脈を土台として新たに自主的な活動グループの発足が計画されています。

2000年の新年早々5人の「塾」卒業生に集まっていたが、活動の様子やこれからのチャレンジについて自由に語っていただきました。

**受講のいきさつは?**  
クラブ・社会が男女共同参画の方向へと変わり始めたからだと思いますが、商店会にも「女性部」を作っています、という動きがあったのです。その頃にちょうど産業振興課でも「おかみさん元気塾」の企画があり、女性部のメンバーで参加することになりました。

**活動の内容とこれからのことについてお聞かせください。**  
クラブ・平成11年8月の「平和祈念のつどい」に初めて有志で参加し、すいとん作りをしました。素材の吟味、下ごしらえ、味付け、対面販売と皆がそれぞれプロの力を結集したのですから、評判は上々。あつという間になくなってしまいました。それぞれの家族の協力もすばらしくて、車ですいとんの材料や道具を運んだり、大量のごみの片づけなど、夫や子どもたちがサポートしてくれました。今年もぜひ参加したいと皆

**どんなことを学びましたか?**  
クラブ・商人は夫婦お互い対等なんです。支え合い、お互いに良いところを認め合い、店を特色あるものにしていくということでは、いわば「戦友」です。「塾」のカリキュラムも、講師のお話もとても良く、学びやすかったですね。自分のお店にとっても「この点は同じことだわ」と共感を持って、やる気が出ました。また、地域を越えた友人・知人ができ、自主的にまた会おう、話そうという盛り上がりとなって輪が広がり、卒業生全体の会となったのです。発足は3月の予定です。

**どんなものなのだろうと、少し不安でしたが、講義は私たちに身近で、日常の商売に取り入れやすい内容でした。日頃からいろいろ考えてきたことも講義の中にはずいぶん出てきて、何度もうなずきました。**

**皆さん元気はつらつ。人生を積極的に生きていくという印象を強く持ちました。自分の店のことだけでなく、リサイクルの推進にも協力して、北区を明るく楽しい地域にしていきたいという意欲満々でした。安全な商品の提供のみならず、元気印のオーラも発せられる商店が並ぶ街を歩くのが楽しみになりそうです。**

### おかみさん元気塾

区内の商店を営んでいる女性たちの一層の活躍とネットワークづくりを願って産業振興課が平成8年に開設したセミナー。今年度の開催日程については産業振興課まで。  
TEL 5390-1234、  
FAX 5390-1144。



## 女性学講座

誌上講演会

「子育て中の人集まれ」より

広岡智子氏をお迎えして



広岡智子氏 (ひろおかともこ: 子どもの虐待防止センター理事・相談員)

子育て中のママや子どもたちとも気さくに話し、マニュアルを気にせずそれぞれの子育てを見つけて、と呼び掛ける講師の優しい語り口に、何となくほっとできるひとときを過ごしました。

### 子どもから母の支援へ

私たちが電話相談を開始したのは1991年。現在は毎日多数の相談が寄せられ、電話はパンク寸前です。もともとは虐待を受けている子どもの支援を目的に始めたのですが、実際はかかってくる電話の8割が母親からのものでした。やはり母親のサポートが重要なのでは、ということで電話相談、危機状態にある個々の事例への介入、問題を抱える母親のグループ支援、そしてこのようなかたちでの講演活動などを行っています。

電話をかけてくれたり、講座に来てくれたりする人は良いのですが、一番気になるのはこういった場に出てこない(来られない)、最も問題を抱えている人たちなのです。

### 子育ての目的喪失時代

モノが溢れ、価値観や情報も多様化しましたが、現代人は思想や目的意識を喪失し、いかに生きるかに悩んでいます。密室で子どもと濃密な時間を過ごしている母親もまた、子どもにどんな働きかけをしたら良いのか答えを見つけれずにいます。

周囲からはあなたがしっかりしないとやられ、自分の苦しみも夫からも理解されず、地域に悩みを打ち明けよう友人がいない母親のさまざまなストレスが、過剰なほどの「しつけ」や逆の場合には無関心となって子どもに返ってくる。そういう形で虐待への道が始まります。

### 子どもの虐待とは

子どもの虐待は英語ではChild abuseといいますが、abuseとは「乱用する」という意味で、子どもに対して大人の力を「乱用する」ことなのです。明かに「犯罪」と呼べるようなものから私たちの日常の延長線上にあるものまで、虐待は千差万別です。どちらの場合にしても子どもの心身の成長に重大な影響を及ぼします。

虐待の種類については図のとおりです。虐待の状況は身体的な虐待のみ、とか心理的な虐待のみというふうには単純ではなく、いくつもの状況が重複しています。子どもに対する暴力などが(1)非偶発的に、(2)継続して行われ、(3)その行為が育児やしつけの域を逸脱している(=子どもの心身に異常が現われている)とき、虐待が行われているということができてしまう。

### 自分の心に気付く

子どもを虐待する母親たちの中には、幼少期物質的には満たされていたけれど、心理的には虐待を受けていた

<Maltreatment (子どもと大人の不適切な関係)>



人が多く見受けられるようです。親にとっては反抗期がなくともいい子だった人が、実は心の奥底では死にたいと思っていたり、母親を本当に恐れていた、という体験を告白することもあります。

親は子どもに良かれと思って厳しくしつけてきただけなのに、子どもにとっては親に冷淡に扱われてきたという思いが残っていない。こんな悲しい体験の積み重ねが、成長するにしたがってその人の心や対人関係に大きな影響を及ぼします。

親も完璧ではなく、子どもとともに悩み、成長するものです。育児力、母性愛も母親にもとから備わっているのではなく、母親や子どもにとって優しく暖かい環境があっただけで育っていくものなのです。

自分の体験から抜け出すことができずに悩み、苦しんでいる母親自身の心が癒されてこそ、子どもと本当に向き合うことができるでしょう。

### 相談できる人を探そう

「この子は可愛くない。どうやって対応したら良いのか、マニュアルにも書いていない」と嘆く声も聞こえます。親子関係に葛藤がないということはありません。そして、育て方も千差万別。

周りや違う、育児書と違う、と神経質になってしまうときは、相談できる人に気持ちを聞いてもらうのもひとつの方法です。児童館や女性センターで開かれている「子育てサークル」などに参加してみるのもいいでしょう。信頼して話ができる先輩ママも強い見方になります。一人で抱え込まないことが大事です。

## 女性センターご利用の皆さんへ

平成12年4月1日（土）より、施設使用料が有料になります。

## 1. 施設使用料（単位：円）

階名	施設名	面積	午前 (9:00～12:00)		午後 (1:00～5:00)		夜間 (6:00～9:00)	
			午前料金	5割減額	午後料金	5割減額	夜間料金	5割減額
3階	第1学習室	101.31㎡	1,500	700	2,500	1,200	2,300	1,100
4階	第2学習室 (旧第3学習室)	68.00㎡	1,000	500	1,700	800	1,500	700
5階	第3学習室 (旧第4学習室)	114.28㎡	1,700	800	2,900	1,400	2,600	1,300
3階	和室(茶室)	67.90㎡	1,000	500	1,700	800	1,500	700
2階	料理室	164.23㎡	3,000	1,500	4,700	2,300	4,200	2,100

※ 料理教室には、光熱水費500円を加えています。

## 2. 附帯設備使用料（5割減額の対象にはなりません）

種類	単位	使用料
アップライトピアノ	1台1回	500円
ビデオプロジェクタ	1台1回	500円
ビデオセット (第2・第3学習室・和室分は除く)	1台1回	200円
オーバーヘッドプロジェクター	1台1回	200円

3. 使用料は、申請時に納付してください。
4. 使用料を5割減額し、又は、免除することができる場合
  - (1) 区が使用する場合及び区と共催で事業を行うために使用する場合  
免除
  - (2) 区以外の区内の官公署その他これに準ずるものが使用する場合  
5割減額
  - (3) センター登録団体が使用する場合  
5割減額
5. 「交流コーナー」の新設  
4階に、自由に利用できる「交流コーナー」を新設します。打ち合わせ、作業等にご利用ください。
6. 使用料は、平成12年4月1日申請から納付になります。

## 生き方を広げよう

～話してみませんか、外国人の人やお友達と～

気づかず過ごしている日常生活のなかで、女性も男性も、共に輝く関係づくりを、外国の方も交えて話し合ってみませんか！

日時・内容

平成12年3月10日（金）：マス・メディアからジェンダーを考える

平成12年3月17日（金）：家事・育児をどう評価するか

平成12年3月24日（金）：新しいパートナーシップ

全3回 午前10時～12時

講師：お茶の水女子大学大学院人間文化研究科

ジェンダー論専攻 徐 阿貴（そ あき）氏

※各回にゲストとして外国の方が参加します。

☆対象 北区在住、在勤、在学の男女

☆受講料 無料

☆定員 20名

☆保育 2歳以上就学前までのお子さんをお預かりします。

☆申込 2月24日（木）までに、往復ハガキで（講座名、住所、氏名、年齢、保育の必要な方はお子さんの名前、返信ハガキにも住所、氏名を記入）。

☆会場・問い合わせ先 北区女性センター  
(アゼリアプラネット)

〒114-0003 北区豊島1-14-12

TEL(3913)0161 FAX(3913)0081

Azalea No. 2 3

刊行物登録番号  
10-2-006  
(3月号)

平成12年2月29日発行

企画・編集/アゼリア編集委員会

発行/東京都北区総務部

男女共同参画室

〒114-8508

北区王子本町1-15-22

TEL 03-3908-9307

FAX 03-3908-1803

区民編集委員

草間浩子

本田りえ

矢澤弘子

厚美薫

写 真/小田原淑子

協 力/株式会社 タクト・ワン

## 編集後記

もうすぐ春。「さようなら」と「こんにちは」の季節です。東京都の男女平等参画基本条例（仮称）制定、ニューヨークでは世界女性会議の開催と、時代も21世紀へとパトナッチを始めます。私たちもそろそろ「行動」の時期！「女性たちはいつまでもお勉強ばかり」と言わせないためにも、「弱気」のゴートを脱ぎ捨て、地域社会を変革する新しい動きを始めませんか。

(あ)